

CCAシリーズ 施工手順書




◆安全に関する重要な内容です。





施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書も含め添付品をお客様へお渡しください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う恐れがある。

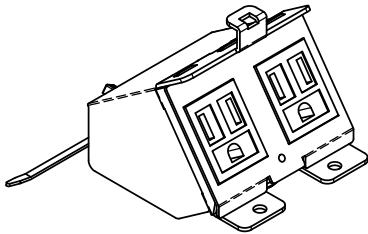
注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。

 警告	
 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなってください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者がこなしてください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

 注意	
 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 必ず守る	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆床に堅固に取付けてください。 ⇒電線やケーブルが抜けたり、傷つく原因となります。

◆部品構成と名称

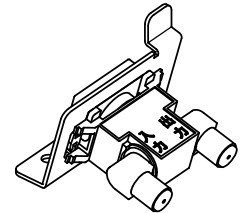
A側器具ブロック
(別売品)



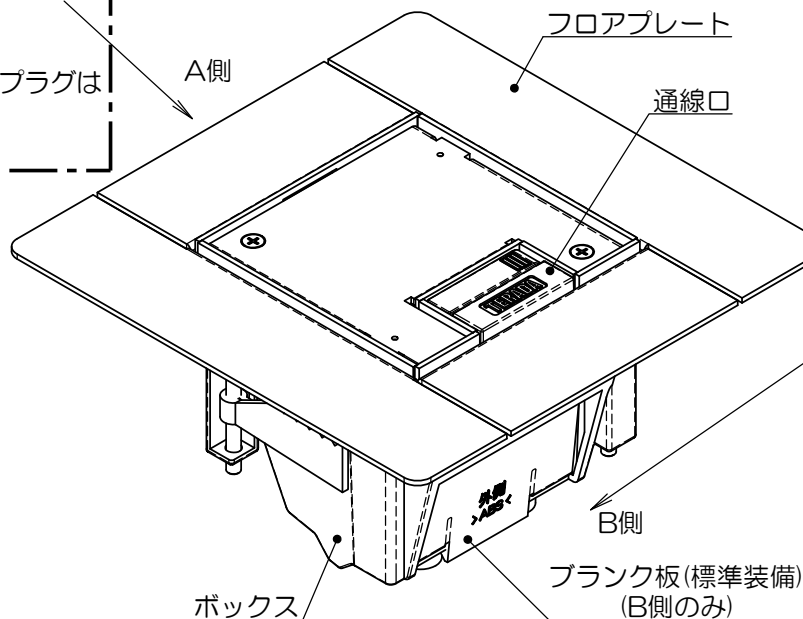
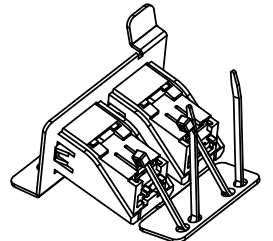
※ L型プラグや大型のプラグは使用できません。

B側器具ブロック
(別売品)

B-Sタイプ



B-Wタイプ



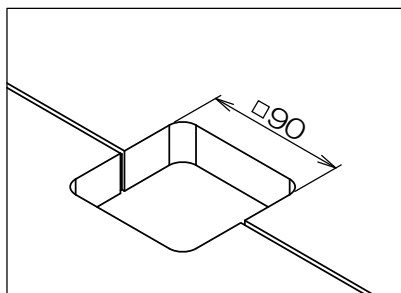
施工方法

フロアパネルに施工する場合

1 フロアパネルの開口寸法の確認

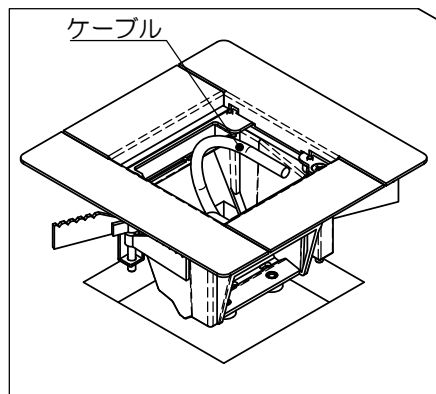
開口寸法 □90mm(一部パネル除く)

パネル厚：9～26mm



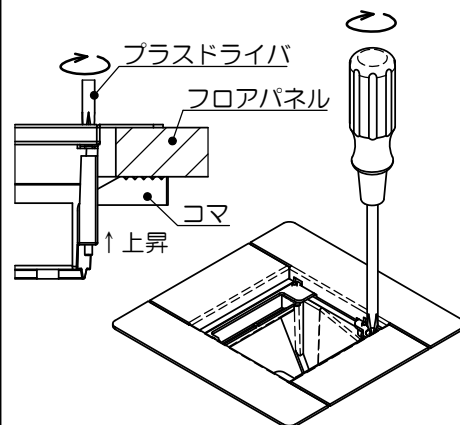
2 ケーブルの引き入れ

ケーブルをフロアパネル開口部から引き出し、ボックス内に引き入れてください。



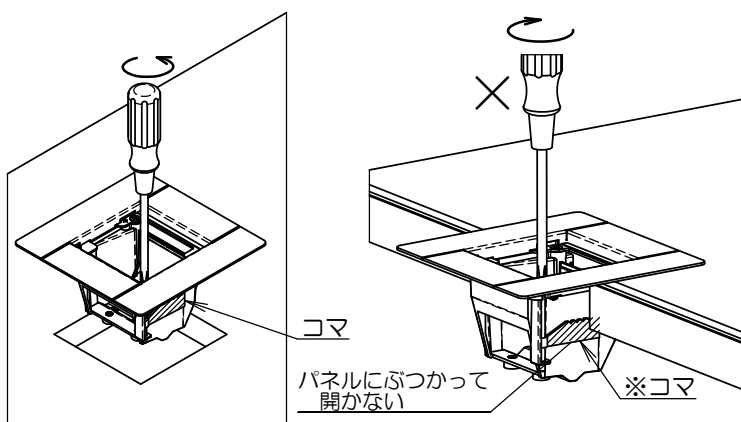
3 ボックス固定

取付ねじを回し、コマを上昇させ、ボックスをフロアパネルに固定します。
(推奨締め付けトルク：1N・m)



4 ボックス固定時の注意点

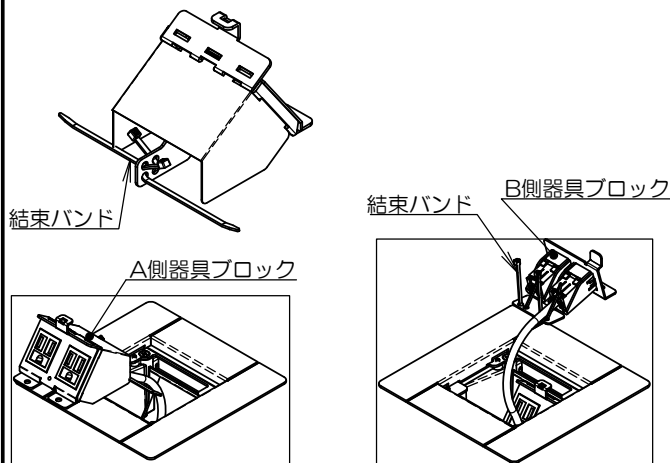
フロアパネルへの取付をやり直す場合は、必ず取付ねじを反時計回りに回して、コマを一番下に下げてからやり直してください。



パネル断面にコマが引っかかり、パネル裏面に引っかかることが出来ません。さらにそのまま締め付けると、コマが本体自身を締め付けてしまい、本製品の破損の恐れがあります。

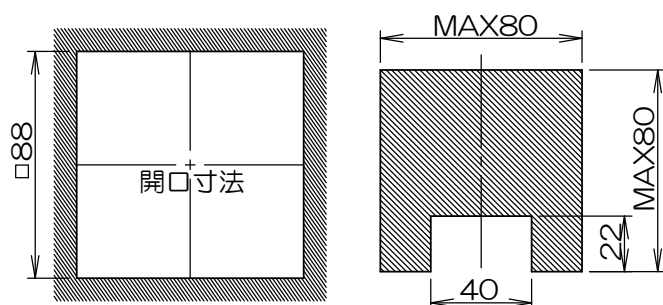
5 器具ブロックへの結線

ボックスに引き込まれているケーブルを配線器具に接続します。B側器具ブロックを使用の場合はブランク板を取り外し、配線器具に接続します。配線方法については各器具の配線方法に従ってください。器具ブロックにはアースネジを設けてありますので必要に応じ接地工事を実施してください。配線後は、ケーブルに張力が掛からないように結束バンドで固定してください。



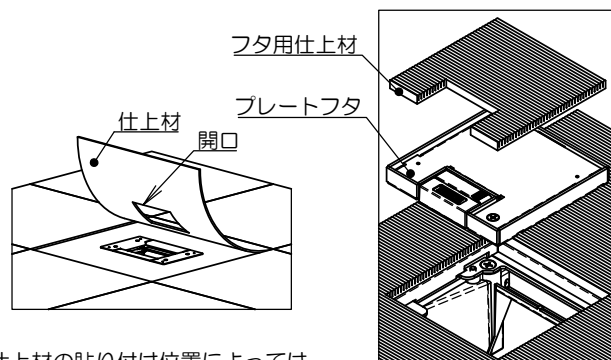
6 仕上材の開口寸法

仕上材を開口する場合は、下記の寸法でカットしてください。斜線部は仕上材です。



7 仕上材の貼り付けとプレートフタの設置

カットした仕上材をプレートフタに貼り付け、プレートフタをプレートワックに収めてください。



※仕上材の貼り付け位置によっては、プレートフタが収まらない場合がありますので、ご注意ください。